学校番号	3021

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術は造形による表現です。表現したい時、形や色が素材・手段になります。
感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」、「鑑賞」など、美術の世界は、いろんな姿で、みんなのすぐ傍に広がっています。感性に響くものに出会ったら、気軽にクロッキーをしよう。美術作品を見て、他者の表現として受けとめる機会を持とう。そうして、日々世の中に関心を持ち、感性を磨いておこう。自分の中に、発想や表現の方法が入った引き出しを持つことが、みんなの美術に向き合う力になります。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 作品	ワークシート 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

個々の作品の評価点が中心であるが、出席、作品制作状況、レポート等の状況も加味して、上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ぼくの・わたしのモアイ	【表現】【彫刻・デザイン】 ・5×5×7.5cmのスタイロブロックからモアイ像をつくり、モアイの髪型・衣装などを各自でデザインし、石粉粘土で成形、アクリル絵の具で着彩 ・上記以外に、どんな素材を用いてもよい。	○	○	○		a:立体造形に関心を持ち、意欲的に取り組むことができている。 b:発想豊かに独創的なアイデアを考えている。 b:立体の制作手順を理解し、構想を練れている。 c:意図に応じて材料や用具を適切に使用し、特性を生かした表現の工夫ができている。	制作の様子 制作途中の作品 作品
後期	ポスタライズ・ポートレ	【表現】【デザイン】 ・ブロマイド写真をもとに平面化したポートレイトをつくる。 ・明暗諧調6段階で色面分割する。	○	○	○		a:技法の特徴を理解し、その表現に意欲的に取り組めている。 b:立体感を失わず、色面分割できている。 b:美しい配色をつくれている。 c:ベタ塗りが大変丁寧にできている。	制作の様子 作品
	にぼしマグネット	【表現】【彫刻】 ・にぼしの特徴的な形の面白さを木彫で表現する。 ・にぼしを鉛筆デッサンする。 ・木材の各面に形を描き入れる ・全体と部分のバランス、ねじれ、動勢などをとらえて彫る。 ・アクリル絵の具で着彩 ・マグネットを取り付ける。	○	○	○		a:木彫制作に関心を持ち、積極的に取り組めている。 b:対象をよく観察し、形や色彩の特徴をとらえて表現できている。 c:意図に応じて道具を使用し、作品を彫り上げ、着彩できている	制作の様子 鉛筆デッサン 作品
	教科展	【鑑賞】 後期末に美術・書道科展を行う。展示作業を協力して行う。原則として全員木彫作品を出品する。他選択者、保護者にも観覧を呼びかける。	○			○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、積極的に他者の表現を受けとめている。 d:　作り手の意図や表現の工夫を理解し、美術作品のよさや美しさを味わっている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　授業時間数や担当者の都合により、実施順序や内容に変更がある場合がある。